

# 幼い日に見た夢 いわさきちひろ展

2022年3月12日(土)～6月19日(日)

会場：ちひろ美術館・東京 展示室 1・3・4

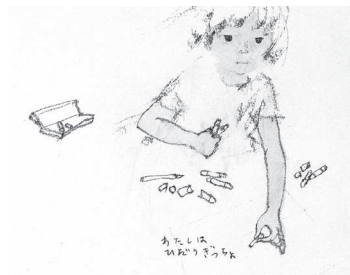
主催：ちひろ美術館 後援：絵本学会、公益社団法人全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会



1-1 つば広帽子の少女 1970年頃



1-2 シャボン玉をふく少女 1969年



1-3 クレヨンで絵をかく少女  
『わたしのえほん』(新日本出版社)より  
1968年

幼い日心にうけた感動が、  
その人の成長につれて  
ふくよかにより美しく成長し、  
心の糧になっていく。

いわさきちひろ 1968年

いわさきちひろ(1918-1974)は、大正デモクラシーの  
気運が高まるなか、東京・山の手で恵まれた少女時代を  
過ごしました。幼いころ、「コドモノクニ」などの絵雑誌  
を舞台に花開いた童画に感銘を受けたことは、ちひろを  
絵本画家として方向づけました。その後、青春時代を戦  
争に翻弄されたちひろにとって、平和で豊かな子ども時  
代は、生涯心のなかに息づいていました。本展では、ち  
ひろの人生の幼少期に焦点をあて、ちひろが子ども時代  
に接した童画とそこから受けた影響、そして幼い日の思  
い出をテーマにした絵本を紹介します。

## 展覧会基本情報

展覧会名 幼い日に見た夢 いわさきちひろ展  
エリック・カールとアメリカの絵本画家たち

会期 2022年3月12日(土)～6月19日(日)  
※会期は予告なく変更になる場合があります。  
○開館時間＝10:00～16:00(最終入館は15:30まで)  
○休館日＝月曜日(祝休日の場合は開館、翌平日休館)

会場 ちひろ美術館・東京 展示室 1・3・4

料金 大人1000円/高校生以下無料  
団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方は800  
円/障害者手帳ご提示の方とその介添えの方1名は  
無料/年間パスポート3000円

## 展覧会の見どころ

ちひろの子どものころの思い出や感性がみずみずしく映し出された作品をちひろのことばとともに展示します。

## 童画への憧れ

「美しい月見草が夕やみのなかにゆれてにおっているようであった。また大きな三日月が陰の部分をあかるくまるく残して、絵本いっぱいにひろがっていた。五色の葉っぱのついた本、にじの橋をこどもたちがラッパをふきながら渡っている。見ることや考えることがたくさんあって、夢のようないい気持ちになった。」 いわさきちひろ 1968年

## 好きな色と洋服の思い出

「ももいろをいつごろから好きだったかおぼえていない。私のもっていたクレヨンも、みんなももいろが一ばんちいさくなっていた。ももいろの次は藤いろ、そして淡いみずいろ。(中略)  
それから私が一ばん好きだった洋服を思い出す。白いボイルの地に白いレースがついていた。ベルトは縺子織りのももいろのリボンで、うしろでむすぶようになっていた。」 いわさきちひろ 1970年

## 幼い日に見た夢 平和への願い

ちひろが子どもの本を舞台に活躍の場を広げた1960年代、日本は目覚ましい経済成長を遂げ、子どもを取り巻く環境も大きく変わりました。一方で激化の一途をたどるベトナム戦争の報道に接し、ちひろは自身が体験した戦争に重ね、戦争をテーマにした絵本に取り組みました。  
「私が小さいときからいちばん好きだった絵をかくてこうして暮らしていることが何としかあわせだろうかと思います。」 いわさきちひろ 1965年

ちひろ自身の子どもの時代の感性がみずみずしく映し出された至光社の絵本シリーズをピエゾグラフで紹介いたします。

## 出展作品数

約70点

## 主な出展作品

あやめと少女 1967年／絵をかく少女 1970年／絵本『わたしがちいさかったときに』(童心社)1967年／絵本『花の童話集』(童心社)1969年／絵本『万葉のうた』(童心社)1970年／絵本『たけくらべ』(童心社)1971年

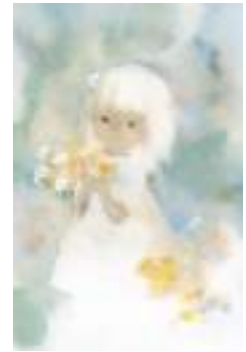


## いわさきちひろ(1918～1974)

福井県武生市(現・越前市)に生まれ、東京に育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。40冊あまりの絵本のほか、教科書やカレンダー、広告など主に印刷物での仕事を中心に活躍。子どもを生涯のテーマとして描き、約9600点の作品を残す。



1-4 「にじが でた」 1957年



1-5 花を持つワンピースの少女 1969年頃

1-6 防空ずきんにくるまるあかちゃん  
「わたしがちいさかったときに」  
(童心社)より 1967年

1-7 桜の花びらを見つめる子ども 1968年

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。  
ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。  
※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。  
※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。  
※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。  
※掲載紙/誌をご送付ください。



# エリック・カールとアメリカの絵本画家たち

2022年3月12日(土)～6月19日(日)

会場：ちひろ美術館・東京 展示室2

主催：ちひろ美術館

協力：The Eric Carle Museum of Picture Book Art, Amherst, Massachusetts、今村正樹・純子



2-1 エリック・カール ピンクの象 1972年  
Eric Carle, Pink elephant. Collection of The Chihiro Art Museum.  
©1972 by Penguin Random House LLC.

エリック・カール、そして  
コールデコット賞受賞画家10人の  
絵本と作品をぎゅっとまとめて紹介！

2021年に91歳で亡くなった絵本画家エリック・カール。『はらぺこあおむし』をはじめとする色彩豊かな絵本は世界中に知られています。本展では、カールの人生と絵本、ちひろ美術館との関わりなどを紹介します。

同時に、ちひろ美術館コレクションより、アメリカで長い歴史を誇る絵本賞、コールデコット賞受賞画家たちの作品を展示します。

時代を経ても斬新なカールの作品、そして多様なアメリカの画家たちの作品をお楽しみください。

2-2 エリック・カール おんどり 1985年  
Eric Carle, Rooster. Collection of The Chihiro Art Museum.  
©1985 by Penguin Random House LLC.



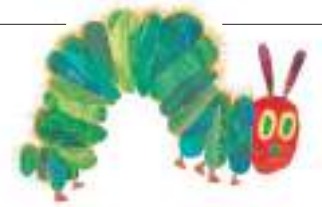
2-3 ジェラルド・マクダーモット 「太陽へとぶ矢」(ほるぶ出版)より 1974年



## 展覧会の見どころ

## エリック・カールの素顔

多くの人に親しまれてきた絵本『はらぺこあおむし』の作者であるエリック・カールが昨年亡くなりました。1929年にアメリカ・ニューヨークに生まれたカールは、ドイツで第二次世界大戦を体験し、再度の渡米を経て39歳で初めての自作の絵本を手がけます。本展では、カールの作品とことばをとおして、彼の人となりを紹介するほか、2002年にアムハーストに創立されたエリック・カール絵本美術館や、カールとちひろ美術館との関わりも紹介します。



2-4 エリック・カール  
『はらぺこあおむし』のイメージ 1999年  
Eric Carle, Image from The Very Hungry Caterpillar.  
Collection of The Chihiro Art Museum.  
©1999 by Penguin Random House LLC.

## アメリカ生まれの絵本の多様な世界

アメリカの絵本は、多様なひろがりみせ、その特徴を一樣に語ることは簡単ではありません。ちひろ美術館コレクションに所蔵される、モーリス・センダックやマーシャ・ブラウン、ジェラルド・マクダーモットなどの作品をみても、いずれも画家の個性が感じられることでしょう。コールデコット賞\*受賞画家10名の作品を中心に紹介します。

## ※コールデコット賞

1938年にアメリカ図書館協会により創設。前年にアメリカで出版された子どものための絵本のなかから、最も優れた1冊の絵本を描いた画家に与えられる賞。19世紀のイギリスの画家、ランドルフ・コールデコットに因んで名づけられた。1名の受賞者の他に、オーナー賞という次点賞がある。



2-5 マーシャ・ブラウン 『むかし、ねずみが…』習作 1961年

## 出展作品数

約30点

## 主な出展作品

エリック・カール(アメリカ) おんどり 1985年  
エリック・カール(アメリカ) ピンクの象 1972年  
エリック・カール(アメリカ) 『ゆめのゆき』 習作 2000年  
エリック・カール(アメリカ) 『はらぺこあおむし』のイメージ 1999年  
マーシャ・ブラウン(アメリカ) 『むかし、ねずみが…』のイメージ 1961年  
ジェラルド・マクダーモット(アメリカ) 『太陽へとぶ矢』より 1974年  
レオ&ダイアン・ディロン(アメリカ) 『磁器の猫』より 1987年頃



2-6 マーク・シモント  
『はなをくんくん』(福音館書店)より  
1949年

## エリック・カール(1929～2021)

ニューヨーク州に生まれる。6歳のときに両親の故郷であるドイツのシュトゥットガルトへ移る。第二次世界大戦後、同市の造形美術大学に学び、卒業後グラフィック・デザインの仕事に携わる。1952年ニューヨークに戻り、レオ・レオニの紹介で、ニューヨーク・タイムズ紙のグラフィック・デザイナーになる。その後広告代理店のアートディレクターを経て、フリーのイラストレーター、デザイナーとして活躍。39歳のときに制作した初めての自作絵本『1, 2, 3どうぶつえんへ』で1970年ポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞受賞。以後、斬新なアイデアとコラージュを駆使した鮮やかな色づかいを特徴とした絵本を発表。『はらぺこあおむし』(1969)をはじめ、その絵本は世界中で翻訳・出版され、愛されている。主な絵本に『ね、ぼくのともしちになって!』(1971)、『うたがみえる きこえるよ』(1973)、『くもさん おへんじどうしたの』(1984)など。2002年、マサチューセッツ州アムハーストにエリック・カール絵本美術館が開館。2021年5月23日永眠。



©The Eric Carle Museum of Picture Book Art, Amherst, Massachusetts.

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。

## エリック・カールとアメリカの絵本画家たち 関連イベント

## スライドトーク「ちひろ美術館コレクションのアメリカの絵本画家たち」

3月27日(日) 14:00～14:30

会場：ちひろ美術館・東京 図書室／講師：松方路子(ちひろ美術館学芸員)／参加費：無料(入館料別)／定員：15名

申し込み：要事前予約(ちひろ美術館公式サイト、TEL.03-3995-0612にて2月28日(月)より受付開始)

展示担当学芸員が、ちひろ美術館コレクションのアメリカの絵本画家の魅力について語ります。

## 講演会「ちひろ美術館とエリック・カール」

4月23日(土) 14:00～15:00

会場：ちひろ美術館・東京 図書室／講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)／参加費：無料(入館料別)／定員：15名

申し込み：要事前予約(ちひろ美術館公式サイト、TEL.03-3995-0612にて3月23日(水)より受付開始)

エリック・カールと親交を深めた松本猛が、ちひろ美術館に収蔵されているエリック・カール作品や、エリック・カール絵本美術館にまつわるエピソードなどを語ります。

## 幼い日に見た夢 いわさきちひろ展 関連イベント

## 松本猛 ガラリートーク

4月24日(日) 14:00～

講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)

参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付にて申し込み

いわさきちひろのひとり息子・松本猛によるガラリートーク。

展示作品を見ながら、母・ちひろとの思い出や展示の見どころなどをお話します。



## ガラリートーク

第1・第3土曜日14:00～

参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付

当館学芸員が開催中の展覧会の見どころなどをお話します。

## その他のイベント

## わらべうたあそび(オンライン開催)

5月21日(土)

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表・はとさん文庫主宰)

対象：10:30～11:00 0～1歳6ヵ月児と保護者

11:30～12:00 1歳7ヵ月～2歳11ヵ月児と保護者

参加費：無料

定員：各回5組

申し込み：要事前予約(ちひろ美術館公式サイト、  
TEL.03-3995-0612にて4月21日より受付開始)リズムにあわせて体を動かしたり、  
声を出して歌ったり。物語への入り口となる「わらべうた」を  
親子で楽しみましょう。指をくわえるあかちゃん  
1967年

## 絵本のじかん

第2・第4土曜日11:00～

会場：ちひろ美術館・東京 図書室

参加費：無料(入館料別)

定員：15名／申し込み：当日受付

協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

季節や展示にあわせ、毎回テーマに  
そった絵本の読み聞かせを行います。あかちゃんから大人まで、どなたでも  
ご参加いただけます。見つめる子どもたち  
1969年

## 次回展示予告

6月25日(土)～10月2日(日)

ちひろ・花に映るもの

ちひろ美術館コレクション

江戸からいまへ 日本の絵本展

※リリースに掲載している展覧会・イベントは、予告なく変更になる可能性があります。最新情報は公式サイトをご覧ください。お問い合わせは、お電話・メールにてお問い合わせください。みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。